「次期『社会資本整備重点計画』の策定について」のポイント

（社会資本整備審議会・交通政策審議会計画部会とりまとめ）

１．とりまとめの位置付けとポイント

これまでの議論をとりまとめ、計画部会として提言するもの

- ○ 成長力の強化と地域の自立・活性化に向け、「活力」をより重視
- ○ 老朽化した社会資本ストックの増加に対応し、維持管理や更新を重視
- ○ 早期に概成させる事業の明確化、重点化をさらに進める
- ○ 指標の改善等により重点計画の分かり易さをさらに向上させる

２．次期重点計画において対応すべき課題

- ○ 人口減少社会の到来と急速な高齢化の進展に対応した投資
- ○ 東アジア地域の成長に対応しつつ地域の活力を高める投資
- ○ 増大する災害リスク等に対し、安全・安心な社会を形成する投資
- ○ 環境や美しい景観の形成等に対する投資
- ○ 社会資本ストックの老朽化等への対応
- ○ 情報通信技術の急速な進展を活かしたイノベーションの推進

３．次期重点計画の基本構成

- ○ 将来（概ね１０年後）の経済社会の具体的な姿の提示
  （長期にわたる社会資本整備を通して実現を目指すべき経済社会の姿を示す）
- ○ 重点目標分野を「活力」、「安全」、「暮らし・環境」に統合
  新たに維持管理や更新などの「横断的な政策課題」を創設
- ○ 新たな重点目標を追加
  （「ハード政策と一体となったソフト対策による被害の軽減」、「良好な景観の形成」、「ICT による社会資本の高度化」及び「計画的・効率的な維持管理や更新の推進」）
- ○ 緊急性を有する事業の明確化
  （「国際競争力強化」、「地域活力の向上」、「災害に強い国土づくり」、「子育て支援、バリアフリー社会の形成」及び「地球温暖化防止」の目標のなかで特に位置付ける指標）
- ○ 分かり易い身近な指標への改善
  （「事業や施設間での連携による横断的指標の充実」、地域指標など「身近な変化・改善を実感し得る指標の導入」及び「ハード整備と一体となったソフト対策の指標の検討」）
- ○ 重点的、効果的かつ効率的な整備に向けた取組の充実
  （・構想段階からの住民参加など計画策定プロセスの透明性・公正性の向上
  ・CO_2削減効果の貨幣換算手法など事業評価の評価手法の更なる高度化
  ・VFM(Value For Money)最大化に向けたコストの縮減
  ・入札・契約の透明性・競争性の向上等公共調達の改革
  ・コスト縮減、維持管理の高度化等に向けた技術開発
  ・民間能力・資金の活用）

４．国土形成計画の実現に向けた社会資本整備重点計画の推進

- ○ 国土計画と「車の両輪」としての社会資本整備
- ○ 地方ブロックの社会資本の重点整備方針の充実・強化